

循環社会推進協議会 2024年度特別開催・セミナー報告書

- 開催日時： 2024. 08.11 (日) 9:30~12:00
- 開催場所： 秋田県大潟村ソーラースポーツライン
- Web 発信等：大会ホームページで発信
- 参加者： クリーン・エナジー・アライアンス(NPO 法人)主催、会場参加者約 200 名他、SNS を更に利用、大会進行の中、幅広く発信された。
- 内容： 我々協議会にてまとめ、大会実況中継を進行させながら発信した。
※大会共催、後援団体と連携、公益社団法人自動車技術会のパンフレットを各チームに配布。

サステナブルな社会の実現に向けて

2024. 08.11(日) 9:30~12:00 秋田県大潟村ソーラースポーツライン



再生可能エネルギー(海洋・風力・太陽光等)を上手に利用する持続可能な循環社会の構築・実現の為にエネルギーキャリアの開発と循環利用を実現する。

1. プロジェクトとしての取り組み



熊谷枝折 (一般社団法人循環社会推進協議会 代表理事兼電池部会長)

2. カーボンニュートラルに向けた世界潮流

吉澤徳子(一般社団法人循環社会推進協議会 EV部会 アドバイザー
産業技術総合研究所 ゼロエミッション国際共同研究センター)
鎌田祐実子、前川昂仁 (株式会社日本製鋼所)

3. ソーラーカーレース・EV実用化への挑戦

木村英樹(一般社団法人循環社会推進協議会 EV部会長 東海大学学長補佐)

4. ゼロ・カーボンEVへの挑戦

斉藤純 (一般社団法人循環社会推進協議会 EV部会 玉川大学 工学部准教授)

5. Q&A 及びグリーンフリートクラス審査 (熊谷、木村、斉藤、吉澤、鎌田)

6. 各氏の説明概要は次の通りである。

① 熊谷枝折

ソーラーカー開催の歴史、能登の震災の状況、東日本大震災、そして南海トラフへの懸念、今回のすべてのエントリーも少ないエネルギー、自然エネルギーを上手に取り入れる技術を習得していることを説明、チャレンジャーとして災害時の貢献の可能性を示した。

② 吉澤徳子

カーボンニュートラルに向けた世界潮流として発信、JSW の鎌田さん、前川さんとの連携、大会の状況についても同時通訳を実施しながら幅広く発信できた。また、自動車技術会・蓄電部会長としての立場での説明もされた。

③ 木村英樹

ソーラーカーレース・EV 実用化への挑戦とし、トップチームの代表者について紹介された。佐川先生により、ドライバー交代に合わせてピットの状況を公開できた。東海大チームが総合優勝、本人は 60 歳を迎えたシャツで胴上げとなった。

④ 齊藤 純

今回は大会には出場しなかったが、「ゼロ・カーボン EV への挑戦」というテーマで実用 EV への太陽光からの充電システムについて披露した。
将来の EV の充電システムの姿として、解りやすく、幅広く説明した。

その後、全員が「グリーンフリートクラス」の審査員として大会をサポートした。当現地セミナーの様子は、次のページにて掲載、纏めたものを我々のホームページにて掲載予定である。

※大会公式ページにて、最終日の実況、9 時 30 分から 12 時までの時間帯に掲載。

<https://wgc.or.jp/>





以上